

多言語多文化研究に向けた複合型派遣プログラム
派遣先機関等利用マニュアル

2010年 10月 2日

派遣者氏名（専門分野）	山口 真季子（音楽学）
-------------	-------------

派遣期間	2010年 8月 24日 ～ 2010年 9月 7日
------	----------------------------

派遣研究機関

国	都市	訪問機関
アメリカ合衆国	ワシントン	アメリカ議会図書館

利用マニュアル（利用申請に必要な書類、手続き、リサーチ方法を記入）

◇渡航前

- ・アメリカ議会図書館ホームページ <http://www.loc.gov/index.html> で資料検索
必要な資料を検索できるほか、資料にアクセスするための手続きについて調べたりできる。
- ・“Ask a Librarian” (<http://www.loc.gov/rr/askalib/>) にて詳細を質問
返答は5営業日以内に送られると書かれているが、私が送った質問への回答は10日後に送られてきたので、早めに問い合わせしておいた方が無難。

※資料によっては閲覧、コピーの制限等があるので、事前に問い合わせしておくべき。私の場合は、資料提供者の許可がないとコピーができないということだったので、事前にコンタクトを取り許可する旨の書類を書いてもらった。

◇渡航後

- ・利用証の取得

ジェームズ・マディソン館1FのReader Registration Station (LM140) にて、パスポートを見せ書類に必要事項を書き込むと、その場で写真を撮って利用証を発行してくれる。私の場合、それほど時間はかからなかったが、時間のかかることもあるそう。

- ・メイン・リーディングルーム

トマス・ジェファソン館のメイン・リーディングルームでは資料検索のほか、所在の分からない資料についてライブラリアンに質問することができる。例えば私は検索で出てこなかった、アメリカ国内の大学の学位論文について問い合わせた。

- ・その他のリーディングルーム

私が調査を行ったパフォーマンス・アーツ・リーディングルーム (LM113) では、利用証を見せると中に入ることができる。ほしい資料についてライブラリアンに聞くか、事前にホームページで資料番号等を把握している場合は、資料の請求票に必要な資料の番号を記入すると書庫から取り出してもらえる。初めての際は、資料が出てくるまでに30分ほど時間がかかった。なお資料を何日かキープしておくことも可能なので、返却の際に申し出る。

音楽部門の中でも、音響資料については受付が異なっている。またレコード等はスペースの問題から少し離れた場所に保管されており、取り寄せるのに1日以上を要するので早めにオーダーする必要がある。